

大阪経済記者クラブ会員各位

体験してみよう！ 社会人大学院 in 大阪企業家ミュージアム
大阪大学連携講座「大阪の企業家群像」の開講について

【問合せ先】

大阪商工会議所 大阪企業家ミュージアム（大西）

Tel：(06) 4964-7601

【開講の趣旨】

大阪商工会議所が設置・運営する大阪企業家ミュージアムでは、大阪大学大学院経済学研究科より3人の教授を招き、企業家についてより深く学ぶ「大阪の企業家群像」を10月に開講します。

本講座は、2009年度より毎秋開催しています。ビジネスパーソンをはじめ主婦やシニアなどから、社会人大学院の雰囲気を感じることができる場、また、大阪企業家ミュージアムの展示企業家をより深く学べる場として好評を得ています。

【プログラム】

○第1講義 10月1日（土） 10:00～12:00

「東洋のマンチェスターを目指して 一大阪紡績・山辺丈夫を中心に」

大阪大学大学院経済学研究科 教授 阿部 武司 先生

○第2講義 10月8日（土） 10:00～12:00

「松下幸之助と中内・ 価格は誰が決めるのか」

大阪大学大学院経済学研究科 教授 廣田 誠 先生

○第3講義 10月29日（土） 10:00～12:00

「大阪のモノづくり：大阪高等工業学校と大阪砲兵工廠の役割

一久保田権四郎、山田冨」

大阪大学大学院経済学研究科 教授 沢井 実 先生

※ 講義内容等の詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

【受講料】 500円/回（お一人様・税込、大阪企業家ミュージアム入館料を含む）

【申込】 「大阪大学連携講座受講希望」と明記の上、受講者の「氏名」「受講希望日」「連絡先（メールアドレスか電話番号）」を記入してファックス（06-6264-6011）、もしくはメール（museum@osaka.cci.or.jp）にてお申し込みください（各回とも先着40人まで）。

【添付資料】 「大阪大学連携講座『大阪の企業家群像』」案内チラシ

以上

体験してみよう!

社会人大学院 in 大阪企業家ミュージアム

大阪大学連携講座「大阪の企業家群像」

主催：大阪商工会議所大阪企業家ミュージアム
協力：大阪大学大学院経済学研究科

学問を究めたい、自己実現をしたい、名刺の肩書きを増やしたい・・・
社会人学生に対応した制度の拡充に伴い、大学院で学ぶ社会人が増えています。

大阪企業家ミュージアムでは大阪大学大学院のご協力を得て、「企業家」をテーマにした講座を開講。同大学院で教鞭を執る3人の先生をお招きし、大学院での授業さながら、それぞれの切り口から企業家について語っていただきます。

秋の1日、企業家の足跡から、改めて「大阪」を学んでみてはいかがでしょうか。
大阪検定対策にも、是非、ご活用ください。

日 時：平成23年10月1日（土）、8日（土）、29日（土）
いずれも時間は10:00～12:00（30分の質疑応答を含む）
※講義の内容は、裏面のシラバス（講義内容）をご覧ください。

場 所：大阪企業家ミュージアム
（大阪市中央区本町1-4-5 大阪産業創造館B1F）

受講料：500円/回（お一人様・税込、大阪企業家ミュージアム入館料含む）
※当日、受付にて申し受けます。

申 込：「大阪大学連携講座受講希望」と明記の上、受講者の「氏名」「受講希望日」「連絡先（メールアドレスか、電話番号）」を記入してファックス、もしくはメールにてお申し込みください。
※受付は各回とも先着40人まで。受講票は発行しません。満席の場合のみ当方よりご連絡いたします。

問合せ：大阪商工会議所人材開発部 大阪企業家ミュージアム（大西）
TEL：06-4964-7601 / FAX：06-6264-6011
E-Mail：museum@osaka.cci.or.jp



※ お申込みいただきました個人情報については、本講座の運営に用いるほか、ご記入いただいたメールアドレスは、大阪商工会議所、大阪企業家ミュージアム、大阪大学からの連絡・情報提供（Eメールでの事業案内を含む）に利用するのをはじめ、講師には参加者名簿としてお渡します。

◆◆シラバス（講義内容）◆◆◆

○第1 講義 平成23年10月1日（土） 10:00～12:00

「東洋のマンチェスターを目指して ー大阪紡績・山辺丈夫を中心に」

大阪大学大学院経済学研究科 教授 阿部 武司 先生

※ 当日、東洋紡のご協力をいただいて特別展示を開催中！ あわせてご見学ください。

【講師略歴】 東京大学経済学部卒。1994年より大阪大学教授。現在、経営史学会会長も務める。

【講義内容】 近代の大阪は工業都市として目覚ましい発展を遂げ、早くも日清戦争の頃から「東洋のマンチェスター」と呼ばれるようになりました。マンチェスターとは、日本よりも約1世紀前に産業革命を開始していたイギリスの綿工業都市のことで、大阪を同市に比べられる発展へと導いた重要な人物が大阪紡績会社（東洋紡の前身）の技術者・経営者であった山辺丈夫でした。本講義では彼の事績を通じて大阪と繊維産業の関わりについて考えます。

【キーワード】 山辺丈夫、大阪紡績会社、ランカシャー、渋沢栄一、1万鍾紡績、専門経営者

○第2 講義 平成23年10月8日（土） 10:00～12:00

「松下幸之助と中内・ 価格は誰が決めるのか」

大阪大学大学院経済学研究科 教授 廣田 誠 先生

【講師略歴】 和歌山大学経済学部卒。2008年より大阪大学大学院経済学研究科教授。

【講義内容】 戦後のわが国における「流通革命」の立役者であったダイエーは、1970年カラーテレビ「プブ」をプライベートブランドで発売。その背景には家電製品の販売価格をめぐるダイエーと松下電器（現パナソニック）の経営理念をかけた対立がありました。本講義では、この問題を中心に、松下電器創業者・松下幸之助とダイエー創業者・中内功の生涯と事業について概説します。

【キーワード】 水道哲学、戦場体験、三種の神器、価格破壊、門真市、道修町、千林商店街

○第3 講義 平成23年10月29日（土） 10:00～12:00

「大阪のモノづくり：大阪高等工業学校と大阪砲兵工廠の役割」

大阪大学大学院経済学研究科 教授 沢井 実 先生

【講師略歴】 国際基督教大学教養学部卒。1998年より大阪大学教授。

【講義内容】 東京高等工業学校に続いて、工業専門学校としては、日本で二番目に設立された大阪高等工業学校は産業発展を牽引する多数の有為の技術者を輩出しました。一方、大阪砲兵工廠の主な目標は兵器生産でしたが、同工廠で腕を磨いた多くの労働者が民間部門に移動しただけでなく、払い下げられた設備機械は谷町機械商街形成の要因となりました。本講義では、大阪高等工業学校と大阪砲兵工廠を軸にして、大阪のモノづくりの伝統を考えます。

【キーワード】 久保田権四郎、山田晁、帝国大学工学部、旧制工業専門学校、兵器生産、中古機械市場、谷町、新町・立売堀

